

広報とらつく 7月1日号の主な項目

○1面

(全ト協)

- ・3期目スタートにあたり星野会長トップメッセージ
—労働時間・取引環境改善を最大の課題に
- ・運送業界イメージの向上へ—労働力確保へ向け一丸となって
- ・[全国に協議会設置し解決策探る 労働環境改善に向け荷主・行政とタッグ](#)
- ・安全・環境対策は永遠の課題 税制・金融対策も継続して対応
- ・ますます強まる防災センターへの期待 緊急輸送体制を一層強化

○2面

【ニュースターミナル】

(国土交通省)

- ・[「貨物自動車の総合安全対策」策定—準中型免許導入視野に](#)

(全ト協)

- ・[青年部会代表者協議会—若年労働力確保等に向け積極的な活動を推進](#)
- ・[「引越安心マーク」申請受付始まる 7月16日\(木\)～31日\(金\)まで](#)
- ・[Gマーク申請は7月14日\(火\)まで](#)
- ・大東文化大学で学生対象に講義を実施

—消費者物流を中心にトラック運送事業の有用性を説明

(都道府県ト協)

- ・宮城県トラック協会

[—福島第一原発事故による避難指示区域通過時の被ばく線量実測調査に協力](#)

【連載(1)】

- ・危険予知訓練(KYT)シート：交通事故防止編 第67回「渋滞道路の走行」

○3面

【ニュースターミナル】

(国土交通省)

- ・[運転者教育を強化—指導・監督指針改正へ](#)
- ・[26年度国土交通白書—トラガールも紹介](#)
- ・[道路で新規制基準試行—災害発生前に通行止め](#)
- ・[特殊車両通行許可審査システムに障害—6月1日～24日の申請最大約300件に影響](#)

(国土交通省・経済産業省)

- ・[トラック隊列走行等検討—自動走行で中間まとめ](#)

(環境省)

- ・[除染土壌等のパイロット輸送開始—高速道路を利用](#)

(首都高速道路)

- ・[首都圏中央環状線小菅出口が長期通行止めに—内回り堀切～小菅間4車線化工事に伴い](#)

(その他)

- ・[運転従事者脳MRI 健診支援機構が発足—健康起因交通事故撲滅を目指し](#)
- ・「アルコール検知器協議会」設立—検定制度導入視野に評価基準策定へ

【連載(2)】

- ・トラック運送事業者のための経営のヒント
第143回「輸配送効率化と自車両重視の傾向」物流ジャーナリスト 森田 富士夫 氏
- ・労務 Q&A —第95回「はしご使用の指示に反し飛び降りた骨折事故は労災化」

○4面

- ・環境特集—トラックメーカー4社にみる次世代に走り出す環境対応トラック (前編)
 - ・日野自動車(株)—HV技術を応用し次世代環境対応車開発を推進
 - ・いすゞ自動車(株)—バイオディーゼルなど次世代燃料への対応を強化

○5面

(国土交通省)

- ・[7月1日から「ASV導入」等の補助募集を開始—ASVトラック補助対象車種が拡大](#)
(独)情報処理推進機構
- ・[5分でできる！情報セキュリティ自社診断シート](#)
—[情報漏えい事故による経営危機を未然に防ぐために](#)

【連載(3)】

- ・タイヤケア ホントの話 第50回「タイヤの溝底部は『技術の宝庫』でいっぱい」
—タイヤジャーナリスト 渡辺 剛光 氏

○6面

- ・特集—Gマーク認定事業所紹介
Gマークの認定・継続こそプライド—株式会社西和物流 (奈良県磯城郡)

○7面

- ・[トラックの重大事故に係るデータ集計結果 第4回](#)

【連載(4)】

- ・食の新旧街道を行く—俯瞰食文化の視点から—65「米の道」②
「小昼なら、きな粉むすび」フードジャーナリスト、食文化研究家 向笠 千恵子 氏
- ・ハナちゃん (第31回) 前川 しんすけ 氏

○8面

- ・[労災事故防止特集 「トラック運送事業者のための健康起因事故防止マニュアル」より](#)
—[第2回 定期健康診断の実施と有効活用①](#)
- ・平成27年度事故防止セミナー全国で開催中—今年度から「交差点事故防止」セミナーも
—[事故撲滅ツールもHPで公開中](#)
- ・こちら広報室『四季折々』72